

# 平成27年度 第9回 直江津区地域協議会

## 次 第

日時：平成27年10月7日（水）

午後6時～

会場：レインボーセンター 第三会議室

### 1 開 会

### 2 会長あいさつ

### 3 議 題

#### 【自主的審議事項】

直江津まちづくり構想について

### 4 その他

- ・第10回協議会について

10月21日（水）午後6時00分～ レインボーセンター第二会議室

### 5 閉 会

新水族博物館を活用した直江津のまちづくりを話し合う会(7/4、7/18、9/25開催) 意見集約表

平成27年10月7日現在

	地域(個人・商店・団体)が行うこと			協働(市と地域)で行うこと			新水族館以外の部署が行うこと			新水族館が行うこと				
	取組	期間	意見詳細	取組	期間	意見詳細	取組	期間	意見詳細	取組	期間	意見詳細		
直江津のPR	【商店街等の整備】 オープンガーデンの整備	中期	街中でオープンガーデンの利用	【直江津のまちづくりを考える】 ①まちのテーマづくり 高齢者の暮らしやすい町など、町内会を通じての住民アンケートの実施 ②まちづくりコーディネーターの育成 市内大学の協力や先進地から学ぶ ③後継者の育成 ④住民団体の活動拠点の設置	短期	各町内全体で一つの目標(テーマ)を立て全体で活動する 地区の町民の考え方・希望を詳細に聞くため、町内会長さんを通してアンケートをとったらどうか 例:①どんな街にしたいのか(例えば歴史と文化の町) ②行政への要望 ③観光特区 ④寄付を募る など				【PR策】 ⑨雪国体験や荒海ツアー企画	中期	水族館の冬場の集客 ・(案)東南アジア国内の雪のない地域から雪国体験や荒海見物の客をツアーで集め、これと水族館の冬場の模様替えで客を引き込む		
	【PR策】(目玉づくり) ①お土産 ②ゆるキャラ ③直江津ブランド	短期	ロコミになる目玉作り(お土産など) 地域ごとの開発もあり		短期	町づくりの基本は足で歩くことが基本。高齢者が暮らしやすい町を基本とする。								
		短期	ゆるキャラをつくる		短期	町づくりコーディネーターの育成 ・町づくりコーディネーターを招く								
		短期	「おもてなし」の演出(観光地である!売店・飲食) 外からの目線を大事に アンケート調査の実施、新水族館の理解・把握		短期	市内の大学とコラボ、他市(例:富岡製紙場など)の町おこしのアイデアをもらったり参加してもらう ・高田との連携(良好な関係を築き協働する) ・官産学労民の連携(相乗効果を図る)								
	【PR策】 ①おもてなしの演出(外目線を大事にする) ②郷土の食文化とお店を紹介 ⑦各商店による誘客への取組 活気づくり、イベントでのペンギン行列、買い物等ポイント制導入など ⑭直江津の良さをPR(夕日、山の稜線などの写真や画) ⑮故郷に誇りと愛着を持ちPRする ⑯直江津の歴史や伝統を知る	短期	インターネットでの広報(土産物等)		短期	新事業の創造と商店街の後継者の育成を考える								
		短期	郷土の食文化の案内とお店の紹介		短期	従来の活動団体が各々の思いを集約し交流できる協働の拠点が、活動の強化につなげ、水族館を活かす								
		短期	各商店でも客を取り入れる仕掛け、取組 ・商店の活気を取り戻す取組(奥の細道全国旬会開催等) ・各イベントでペンギン行列 ・商店街でのポイント制導入、10ポイントで割引 ・各商店のトイレの提供と観光案内		短期	三八朝市周辺のまちの魅力発信								
		短期	夕日の美しさ 山の稜線も写真、子どもの画など展示		短期	安寿と厨子王伝説を直江津から佐渡、京都、更に全国に発信する基地にする								
		短期	誇りと愛着が持てる故郷を語れる住民になる		短期	鉄道のまち直江津をPR								
		短期	安寿と厨子王、親鸞聖人上陸「片葉の葦」、御館の乱、直江の津、福島城(高田・春日山城の比較)など		短期	インターネットでの広報(土産物等)								
						短期	タクシーの運転手の観光アドバイス役を							
					短期	学校を通じて、子ども達に直江津の良い所を知ってもらおうと共に子どものアイディア・発想を活かす ・子ども達による観光ボランティア(年数回)								
					短期	学校行事(修学旅行、体験学習(魚釣りなど))を取り入れてもらえるように水族館のPRをしてもらう								
					短期	安寿と厨子王伝説を直江津から佐渡、京都、更に全国に発信する基地にする ・少人数旅行者のルート(源義経・文学碑も活用)をつくる								
					短期	イベント情報のPRの仕方考える								
					長期	新幹線効果を利用した大観光コース 能登→上越→佐渡、佐渡金山→高田→諏訪→川中島→江戸・八王子→駿府(静岡)→仙台→加賀→佐渡など								
					長期	直江津地区の名所旧跡をPRするため整備する(例:福島城の石垣発掘、資料館建設など)								
					中期	土産(特産品)の店を町の中心に								

新水族博物館を活用した直江津のまちづくりを話し合う会(7/4、7/18、9/25開催) 意見集約表

平成27年10月7日現在

		地域(個人・商店・団体)が行うこと			協働(市と地域)で行うこと			新水族館以外の部署が行うこと			新水族館が行うこと		
		取組	期間	意見詳細	取組	期間	意見詳細	取組	期間	意見詳細	取組	期間	意見詳細
ソフト事業	(ア) 街中整備	【水族館ルートの作成】 ②環境整備(清掃等) ③道標等の案内整備 ⑥商店街への回遊策	短期	山ろく線、あじさい通りをきれいに	【水族館ルートの作成】 ①街中からのルート整備(八幡宮公園で遊べる整備など) ②環境整備(清掃等) ④駅前への回遊策 ⑤観光名所への回遊案内 ⑥商店街への回遊策	中期	ルートの作成 ・直江津駅から水族館までの歩道(水族館ロード)整備 ・八幡宮公園途中に遊べて楽しめるポイント整備	【回遊バスの運行】 ①上越妙高駅からのシャトルバス ②街中経由シャトルバス ③観光名所回遊バス 大駐車場(上越インター付近等)を整備し回遊バスの運行	中期	北陸新幹線を通して上越妙高駅からのバスの運行 (アクセスを工夫、JR・ほくほく線、バス・タクシー会社等の連携)	【PR策】 ③水族館PR看板の設置 ④水族館に桜の植栽	短期	水族館の外に大看板を
			中期	雁木を快適に通行できるように配慮する		短期	市街地(駅前や商店街)への観光客への回遊を工夫する ・駅前の施設(交流館、図書館、商店街等)とも連携する ・土産物店や宿泊先の充実		中期	水族館からの2次交通(観光循環バスの運行) ・運行例: 駅-港町-水族館-五智公園-駅 ・シャトルバスは数分毎に乗り降りを可能にする ・名所旧跡をめぐる ・子供も分かりやすいバスの運行		中期	水族館にさとザクラを植栽しPR
			短期	活性化のあるまちづくりに添った活動 ・駅から道路の脇に花等を植え水族館までの道案内等に魚のプレート等を設置する(裏道散歩コースの整備も)		短期	観光客(県内外の方)への歴史ある場所への回遊と案内 ・国分寺、平和公園など ・歩くルート、自転車ルートの案内		中期	上越インター付近に大駐車場を造り、シャトルバスを走らせる			
			中期	町を歩く途中に特色ある店や歴史の理解を深める ・町の特色ある店の発見や、さらに脇道への発展して由緒ある(歴史・史跡)ものを学べる直江津の町を奥深く入って行きかけをつくる		短期	水族館周辺の道路等の清掃(ゴミ清掃、意識改革)		中期	街中の活性化を兼ねたマイカー対策 ・高田と直江津の間に大駐車場を整備し、水族館をはじめ、観光や土産物店、飲食店の集まるいくつかのスポットを巡回する低料金の巡回バスを整備する			
		【駅前の賑わいづくり】 ③活気づくり	中期	駅前は直江津の顔であり、直江津駅も人が少なく以前より静かになっているため、まちなか賑わいを取り戻す必要がある。 (店舗のシャッターへのペイント、空き家の利用など)	短期	回遊優先か、水族館へのアクセス優先か検討が必要							
					短期	挨拶もおもてなしのうちである ・小中学校と連携した中高生のあいさつ運動 ・地域住民や店員も愛想がよく声掛けが必要							
					短期	街中での水族館を生かしたマップ作り ・マップの所在を明確化 ・食事処の地図 ※水族館受付にもマップを設置、アプリを活用したマップ							
					短期	街並みに水族館への行き先の表示看板を設置 ・表示の国際化 英語、中国語 ・説明機械の導入							
					短期	直江津・五智の歴史・文化を物語るポイントを整備 ・歴史の流れを看板表示(PR)							
					中期	自然(海、山)のPR方法を考える ・佐渡汽船の来る時刻に漁船・ボートの解説 ・石碑や親鸞聖人上陸の地などへの案内							
					中期	佐渡汽船との連携(あかねを考える)							
					中期	水族館ボランティアを募集し、ファンクラブをつくる							
				【道路整備】 ②水族館ルートの整備(清掃)	短期	②クリーンな町に努力する							
				【駅前の賑わいづくり】 ①放置自転車の撤去 ②花の展示	短期	・直江津駅前の整備 ・放置自転車の撤去 ・花の展示							

新水族博物館を活用した直江津のまちづくりを話し合う会(7/4、7/18、9/25開催) 意見集約表

平成27年10月7日現在

	地域(個人・商店・団体)が行うこと			協働(市と地域)で行うこと			新水族館以外の部署が行うこと			新水族館が行うこと			
	取組	期間	意見詳細	取組	期間	意見詳細	取組	期間	意見詳細	取組	期間	意見詳細	
ハード事業	(ア) 街中整備						【商店街等の整備】 ①駅前から西本町商店街の整備(アーケードの設置と路面の段差解消) ②街並みの大胆整備	長期	西本町商店街の活性化 ・水族館から西本町の間を商業地域に用途変更し西本町から続くアーケード街に変えていく ・雁木通りの路面の段差を解消していくための補助金を設け、個人負担を軽減させる⇒補助制度あり				
						長期		イトーヨーカ堂を中核にして商店を集約し活性化する→西本町から駅前まで→道路・駐車場の整備					
						長期		街並みの整備(思い切った都市計画を)					
								【ユニバーサルデザイン(バリアフリー)の整備】 ①街全体での取組 ②商店での車椅子用トイレの対応 ③車椅子の方の休憩場所の設置	長期	各種商店は車椅子トイレを造る(専用で)			
						長期	バリアフリーのまちづくり						
						短期	車椅子の人が休憩できる場所を造ってほしい。 (車椅子の長時間乗車は疲れる)						
								【道路整備】 ①アクセス道路の整備(直江津駅・中心街・水族館・五智名所) ②周辺道路の整備(直江津港・佐渡汽船～海岸道路) ④永代橋の整備	長期	アクセス道路の整備 ・駅、直江津中心街、水族館、五智、福島城の名所			
						長期	海岸道路を直江津港(さらには黒井→柿崎)まで延長する						
						長期	佐渡汽船から海岸道路を経由する橋を掛ける(永代橋)を造る計画						
								【駐車場の整備】 ①高田と直江津の間(上越インター付近など)に大駐車場を整備し、シャトルバス運行や、観光名所や土産物店などを巡回バスを運行させる。	中期	街中の活性化を兼ねたマイカー対策 ・高田と直江津の間に大駐車場を整備し、水族館をはじめ、観光や土産物店、飲食店の集まるいくつかのスポットを巡回する低料金の巡回バスを整備する			
					中期	上越インター付近に大駐車場を造り、シャトルバスを走らせる							
	(駅前整備)						【PR策】 ①駅にミニ水族館、併せてふれあい交流の場、ショップコーナーの設置	長期	ミニ水族館を設置し、大スクリーンでの映像でPR、ふれあい交流、ショッピングなどのコーナーを設け、より魅力的な駅にする。	短期	【環境整備】 ②街中への公衆トイレの設置		町中に公衆トイレを ・タコ公園にトイレ表示案内
								【駅前観光案内所の整備】 (休息所も兼ねる)	短期		観光案内所を駅前に設置する(簡単な兼休憩所) 水族館へのレンタサイクルの設置		
								【ユニバーサルデザイン(バリアフリー)の整備】(駅前)	中期	高齢化に伴う直江津駅前の道路の整備を行う。			
								【駅前道路の整備】	中期	駅を中心に道路整備			
								【駅前駐輪場の整備】	短期	駅前の駐輪場を整備する			

新水族博物館を活用した直江津のまちづくりを話し合う会(7/4、7/18、9/25開催) 意見集約表

平成27年10月7日現在

		地域(個人・商店・団体)が行うこと			協働(市と地域)で行うこと			新水族館以外の部署が行うこと			新水族館が行うこと			
		取組	期間	意見詳細	取組	期間	意見詳細	取組	期間	意見詳細	取組	期間	意見詳細	
ハード事業	(イ) 周辺整備				<b>【環境整備】</b> ①水族館北側の整備	中期	新水族館前(道路の北側)の土地・民家をどうするのか	<b>【商店街等整備】</b> ①駅前商店街の整備(アーケードの設置)	長期	駅前商店街アーケードの建設				
						中期	水族館北側を海洋レジャー基地にする更に温水プール、鮮魚センター飲食物販センターをつくる	<b>【物販・飲食店の整備】</b> ①鮮魚市場の整備 ②物産館(土産物店)、食堂、カフェ等の整備	中期	水族館を活かした周辺整備が必要 ・日本海と一帯整備が必要 ・鮮魚センターや飲食店等、集客力のある施設				
						中期	水族館北側にお店や居場所を造る(休み所)		中期	水族館に大きなみやげ物店。大きな食堂がほしい 観光物産センターを水族館周辺に移転する				
									中期	水族館や名所旧跡の周辺、駅前通りにみやげ売り場や食堂、カフェなどを充実させる				
						<b>【観光名所(旧跡)の整備・発信】</b>	長期	直江津地区の名所旧跡を整備する	<b>【観光名所(旧跡)の整備・発信】</b>	長期	五智の自然と歴史ゾーンの整備			
						①直江津の名所旧跡、歴史・文化を整備する	長期	直江津駅から東面の活用 ・直江津の歴史・文化を物語るポイントの整備 特に安寿と厨子王伝説の物語館						
						<b>【道路整備】</b> ②水族館ルートの整備(雁木の段差解消等)	中期	①水族館に行く道路を整備する ③雁木通り、歩道を段差のない通路にする	①五智地区の整備 ・自然と歴史ゾーンの整備 ・五智公園(青少年文化センターの跡地利用(例:休憩場所)含)	長期	五智公園や青少年文化センター跡地の活用 ・東屋のような簡単な休憩できる建物を整備(子ども達が遊びに来るけど雨宿りをする場所がない) ・来た人が自由に休めて水道、本など置けるように			
									<b>【周辺施設の利活用】</b>	中期	屋台会館の利活用も含め「デザイン」と周辺の導線 ・屋台会館へおみやげ店を ・屋台会館近くに「ミニ道の駅」を造る ・屋台会館を休日のみオープンし屋台を見てもらう ・水族館周辺に観光案内を設置			
									①屋台会館の跡地利用(土産物店、道の駅)、青少年文化センター、厚生北会館の更新 ②ウォーターフロントとしての整備	長期	厚生北会館の老朽化と更新について			
										中期	水族館周辺の整備(ウォーターフロントとしての) 子ども達が遊べる施設など			
										短期	サーフィン、釣り客の居場所を考える			
										中期	市として早めに水族館周辺の青写真を出してほしい			
									<b>【道路整備】</b>	中期	海岸道路の拡幅			
										中期	中学校北側の防風林をアミューズ広場に活用出来ないか			
										中期	水族館のお客の歩行アクセスが問題。特に駐車場から水族館の間のグラウンドを冬期間どう通すのか、課題			
								長期	水族館から海岸へ降りる道がない					
								長期	・在来線に新駅設置(五智方面へのアクセス)					

新水族博物館を活用した直江津のまちづくりを話し合う会(7/4、7/18、9/25開催) 意見集約表

平成27年10月7日現在

	地域(個人・商店・団体)が行うこと			協働(市と地域)で行うこと			新水族館以外の部署が行うこと			新水族館が行うこと			
	取組	期間	意見詳細	取組	期間	意見詳細	取組	期間	意見詳細	取組	期間	意見詳細	
渋滞解消・安全対策				【水族館ルートの渋滞緩和・安全対策】	中期	車道・自転車・歩行者の安全対策 ・サイクリングロード、歩行者専用道路の設置など		中期	交通の巡回を考えた町(一方通行) ・安国通りなど	【水族館ルートの渋滞緩和・安全対策】	中期	交通渋滞の問題 ・水族館駐車場に交通案内板を設置する	
				②歩行者・自転車運転者の安全対策				中期	歩道の改築・対策・整備				①一方通行の規制(安国寺通り等)
								中期	雨(雪)に濡れないで歩いて行ける水族館 ・バス停、直江津駅から安全に				②歩行者・自転車運転者の安全対策
								短期	交通量と渋滞の関係、特にイトーヨーカ堂前の信号機について				③歩道の整備
								中期	今でも夏休み中は渋滞が起きて中等～イトーヨーカ堂間は15時～17時は通れない				
								長期	山麓線の延伸により駅前の交通渋滞の緩和				
								中期	周辺道路の整備				
								中期	主要道路の拡幅(防災面で東西方向の道路を整備)				
								中期	①周辺道路の拡幅				
								中期	渋滞問題 水族館と小学校の間の狭い道				
その他					中期	駅などに春日山への案内図の設置		長期	春日山謙信公銅像前への大型バスが入りやすく整備する	【その他運営面】	短期	料金の設定 時間	
				【その他名所旧跡のPR】					短期		水族館の入館 ポイント制で集客を上げる		
				①春日山への案内マップの設置			①春日山への大型バスの乗り入れ				短期	水族館内に釣堀(イカ釣りなど)	
									中期		オープン時にさかなクンを呼ぶ		